

参考資料

1 健康づくりの目標の一覧表

健康寿命の延伸と健康格差の縮小

項目	現 状	目 標	出 典
健康寿命の延伸（日常生活に制限のない期間の平均の延伸）	男性 70.47 年 女性 73.71 年 （平成 22 年）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 （平成 34 年度）	厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」
健康格差の縮小（日常生活に制限のない期間の平均の市町格差の縮小）	ベースラインなし	市町格差の縮小 （平成 34 年度）	県健康増進課調査

がん

項目	現 状	目 標	出 典
75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（10万人あたり）	86.5 （平成 23 年）	73 （平成 28 年度）	人口動態統計
がん検診の受診率の向上 ※受診率の算定について、現状は「40歳以上（子宮頸がんは20歳以上）」、目標は「40歳から69歳まで（子宮頸がんは20歳から69歳まで）」が対象。	胃がん 男性 32.5% 女性 24.1% 肺がん 男性 23.8% 女性 21.1% 大腸がん 男性 23.3% 女性 18.4% 子宮頸がん 女性 19.8% 乳がん 女性 18.4% （平成 22 年）	50% （胃がん、肺がん、大腸がんは、当面40%） （平成 28 年度）	国民生活基礎調査

循環器疾患

項目	現 状	目 標	出 典
脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少（10万人あたり）	脳血管疾患 男性 53.1 女性 27.0 虚血性心疾患 男性 22.4 女性 10.4 （平成 22 年）	脳血管疾患 男性 41.6 女性 24.7 虚血性心疾患 男性 21.3 女性 9.9 （平成 34 年度）	人口動態統計
収縮期血圧 140mmHg 以上の人の割合の減少	男性：22.2% 女性：18.3% （平成 22 年度）	男性：19% 女性：15% （平成 34 年度）	レセプト情報・特定健康診査等データベース
LDL コレステロール 160mg/dl 以上の人の割合の減少	男性：13.0% 女性：15.2% （平成 22 年度）	男性：9.8% 女性：11.4% （平成 34 年度）	レセプト情報・特定健康診査等データベース
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	特定健診受診者に占める該当者及び予備群の割合 25.2% （平成 22 年度）	特定健診受診者に占める該当者及び予備群の割合 18% （平成 29 年度）	レセプト情報・特定健康診査等データベース

項 目	現 状	目 標	出 典
特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	特定健康診査実施率 33.9% 特定保健指導の実施率 14.6% (平成 22 年度)	特定健康診査実施率 70% 特定保健指導の実施率 45% (平成 29 年度)	レセプト情報・特定健康診査等データベース

糖尿病

項 目	現 状	目 標	出 典
糖尿病有病者の増加の抑制 (HbA1c が JDS 値 6.1% (NGSP 値 6.5%) 以上の人の増加の抑制)	7.6% (平成 22 年度)	現状より増加させない 7.6% (平成 34 年度)	レセプト情報・特定健康診査等データベース
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 (HbA1c が JDS 値 8.0% (NGSP 値 8.4%) 以上の人の割合の減少)	1.2% (平成 22 年度)	1.0% (平成 34 年度)	レセプト情報・特定健康診査等データベース
糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	174 人 (平成 22 年)	160 人 (平成 34 年度)	日本透析医学会調査

こころの健康

項 目	現 状	目 標	出 典
地域子育て支援拠点の設置数の増加	144 箇所 (平成 23 年度)	増加させる (平成 34 年度)	県子ども未来課調査
不登校児童生徒の割合(千人あたり)の減少	9.7 人 (平成 23 年度)	減少させる (平成 34 年度)	教育委員会調査
ストレスを感じている人の割合の減少	66.9% (平成 22 年度)	60% (平成 34 年度)	健康づくりに関する意識調査
ふれあい・いきいきサロン数の増加	1,509 箇所 (平成 22 年度)	1,600 箇所 (平成 26 年度)	やまぐち高齢者プラン
自殺者の数の減少(10 万人あたり)	24.0 人 (平成 23 年) 20~30 歳台 男性 32.0 人 女性 14.4 人 40~50 歳台 男性 52.9 人 女性 9.5 人 60 歳台~ 男性 47.3 人 女性 17.5 人	減少させる (平成 34 年度)	人口動態統計

次世代の健康

項 目	現 状	目 標	出 典
妊娠 11 週以下での妊娠届出率の増加	92.1% (平成 23 年度)	増加させる (平成 34 年度)	山口県母子保健事業実績報告

項 目	現 状	目 標	出 典
全出生児数中の低出生体重児の割合の減少	低出生体重児 (2,500g 未満)の出生率 9.7% (平成23年)	減少させる (平成34年度)	人口動態統計
1歳6か月児健康診査の受診率の向上	1歳6か月児健康診査 の受診率 95.2% (平成22年度)	増加させる (平成34年度)	山口県母子保健事業実績 報告
毎日朝食を摂取している子どもの割合の増加	小学5年生 男子 89.0% 女子 92.0% (平成23年度)	増加させる (平成34年度)	山口県体力・生活調査
運動を習慣的に行う子どもの割合の増加	体育の授業以外に毎日 30分以上運動・外 遊びをしている割合 小学5年生 男子 68.0% 女子 45.2% (平成23年度)	増加させる (平成34年度)	山口県体力・生活調査
肥満児の割合の減少	肥満傾向児の出現率 小学5年生 男子 7.06% 女子 5.18% (平成23年度)	減少させる (平成34年度)	学校保健統計調査

高齢者の健康

項 目	現 状	目 標	出 典
二次予防事業参加者数の増加	1,313人 (平成22年度)	2,769人 (平成26年度)	やまぐち高齢者プラン
地域包括支援センターの設置数の増加	36箇所 (平成23年度)	45箇所 (平成26年度)	やまぐち高齢者プラン
ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の言葉や意味を知っている人の割合の増加	37.5% (平成24年度)	80% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査
ロコモティブシンドローム（運動器症候群）に関するロコチェックに該当する人（40歳以上）の減少	29.7% (平成24年度)	24% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査
ふれあい・いきいきサロン数の増加	1,509箇所 (平成22年度)	1,600箇所 (平成26年度)	やまぐち高齢者プラン

栄養・食生活

項 目	現 状	目 標	出 典
主食、主菜及び副菜がそろった食事を する人の割合の増加	朝食 33.8% 昼食 57.4% 夕食 65.0% (平成22年)	20%以上の増加 (平成34年度)	県民健康栄養調査

項 目	現 状	目 標	出 典
栄養バランス等に配慮した食生活を送っている人の割合の増加	37.5% (平成 23 年度)	60% (平成 27 年度)	県政世論調査
野菜摂取量（成人 1 人 1 日あたり）の増加	全ての野菜 277.0g 緑黄色野菜 94.0g (平成 22 年)	全ての野菜 350g 以上 緑黄色野菜 120g 以上 (平成 34 年度)	県民健康栄養調査
果物摂取量（成人 1 人 1 日あたり）100g 未満の人の割合の減少	57.7% (平成 22 年)	30%以下 (平成 34 年度)	県民健康栄養調査
食塩摂取量（成人 1 人 1 日あたり）の減少	男性 10.8g 女性 9.7g (平成 22 年)	男性 9.0g 未満 女性 7.5g 未満 (平成 34 年度)	県民健康栄養調査
成人肥満者の減少 (BMI が 25.0 以上)	男性（20 歳以上） 27.1% 女性（40 歳以上） 17.6% (平成 23 年度)	15%以下 (平成 34 年度)	(財) 山口県予防保健協会 健診データ
20 歳代女性はやせの人の減少 (BMI が 18.5 未満)	17.6% (平成 23 年度)	15%以下 (平成 34 年度)	(財) 山口県予防保健協会 健診データ
適正体重を維持している人の増加 (適正体重：18.5 ≤ BMI < 25.0)	男性（20 歳以上） 68.3% 女性（20 歳以上） 71.1% (平成 23 年度)	80%以上 (平成 34 年度)	(財) 山口県予防保健協会 健診データ
夕食を家族の誰かと一緒に食べる児童生徒の割合の増加	小学生 93.3% 中学生 93.3% (平成 23 年度)	100%に近づける (平成 34 年度)	山口県体力・生活調査
外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にする人の割合の増加	全体 36.0% 男性 19.9% 女性 49.7% (平成 24 年度)	男性 35%以上 女性 65%以上 (平成 34 年度)	健康づくりに関する意識 調査
やまぐち健康応援団に登録している店舗・施設・事業所数の増加	食と栄養による健康 のまちづくり分野の 登録施設数 ・料理に係るイベント、 栄養素等の情報提供 575 施設 ・ヘルシーメニューの 提供 113 施設 (平成 24 年度)	増加させる (平成 34 年度)	県健康増進課調査

身体活動・運動

項 目	現 状	目 標	出 典
日常生活における歩数の増加 (1日の平均歩数)	20～64歳 男性 6,814歩 女性 6,648歩 65歳以上 男性 4,990歩 女性 4,383歩 (平成22年)	現状値より 1,500歩増やす 20～64歳 男性 8,000歩以上 女性 8,000歩以上 65歳以上 男性 6,500歩以上 女性 6,000歩以上 (平成34年度)	県民健康栄養調査
運動習慣のある人の増加 (30分・週2回の運動を1年以上)	20～64歳 男性 26.8% 女性 23.2% 65歳以上 男性 30.5% 女性 26.2% (平成22年)	現状値より10% 増やす 20～64歳 男性 37% 女性 33% 65歳以上 男性 41% 女性 36% (平成34年度)	県民健康栄養調査
日常生活において、健康の維持・増進のために意識的に体を動かすように心がけている人の割合の増加	全体 68.0% 男性 64.4% 女性 71.1% (平成24年度)	全体 78% 男性 74% 女性 81% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の言葉や意味を知っている人の割合の増加	37.5% (平成24年度)	80% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)に関するロコチェックに該当する人(40歳以上)の減少	29.7% (平成24年度)	24% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査
学校体育施設等の開放の増加	運動場 84.1% 体育館 92.0% (平成23年度)	100% (平成34年度)	県学校安全・体育課調査
道路等の整備に合わせた歩道や街灯の設置(歩道設置率)の増加	国道 65.0% 県道 33.7% 市町道 8.0% (平成23年度)	増加させる (平成34年度)	県道路整備課調査

休養

項 目	現 状	目 標	出 典
レクリエーションやスポーツ、趣味など積極的な休養に取り組んでいる人の割合の増加	58.5% (平成24年)	80% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査
睡眠による休養が十分にとれていない人の割合の減少	23.9% (平成24年度)	19% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査
自分なりのストレス解消法を持っている人の割合の増加	81.5% (平成24年度)	90% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査

飲酒

項 目	現 状	目 標	出 典
「節度ある適度な飲酒」が1日平均1合程度であることを知っている人の割合の増加	75.6% (平成24年度)	100% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査
飲酒習慣のある者(週3回以上、1日1合以上)のうち、週2日の休肝日を設けている人の割合の増加	28.0% (平成24年度)	34% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査
多量飲酒者(1日3合を超えて飲酒する人)の割合の減少	男性 3.0% 女性 0.0% (平成22年)	減少させる (平成34年度)	県民健康栄養調査

喫煙

項 目	現 状	目 標	出 典
成人の喫煙率の減少 (喫煙をやめたい人がやめる)	男性 25.6% 女性 2.9% (平成22年)	男性 16.4% 女性 1.6% (平成34年度)	県民健康栄養調査
未成年者の喫煙をなくす	高校生 8.3% 中学生 5.1% (平成19年度) ※健やか親子やまぐち21 中間評価における調査	0% (平成34年度)	県健康増進課調査
妊婦中の喫煙をなくす	妊婦の喫煙率 5.3% (平成18年度)	0% (平成26年度)	妊婦の喫煙に関する調査
受動喫煙(行政機関・医療機関・家庭・飲食店)の機会を有する人の割合の減少	行政機関 10.4% 医療機関 7.3% 家庭 9.5% 飲食店 42.1% (平成24年度)	行政機関 0% 医療機関 0% 家庭 3.0% 飲食店 13.1% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査
受動喫煙防止対策を行っていない施設(保健医療福祉施設、官公庁、店舗娯楽施設、企業(職域))の割合の減少	保健医療福祉施設 4.8% 官公庁 0.8% 店舗娯楽施設 30.7% 企業(職域) 12.2% (平成20年度)	保健医療福祉施設 0% 官公庁 0% 店舗娯楽施設 15.4% 企業(職域) 0% (平成34年度)	分煙化推進実態調査
COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度の向上	43.5% (平成24年度)	80% (平成34年度)	健康づくりに関する意識調査

歯・口腔の健康

項 目	現 状	目 標	出 典
3歳児でう蝕のない人の割合の増加	76.0% (平成23年度)	90% (平成34年度)	山口県母子保健事業実績報告
12歳児でう蝕のない人の割合の増加	54.1% (平成23年度)	65% (平成34年度)	学校保健統計調査
20歳代における歯肉に所見を有する人の割合の減少	55.2% (平成22年)	40% (平成34年度)	県民歯科疾患実態調査

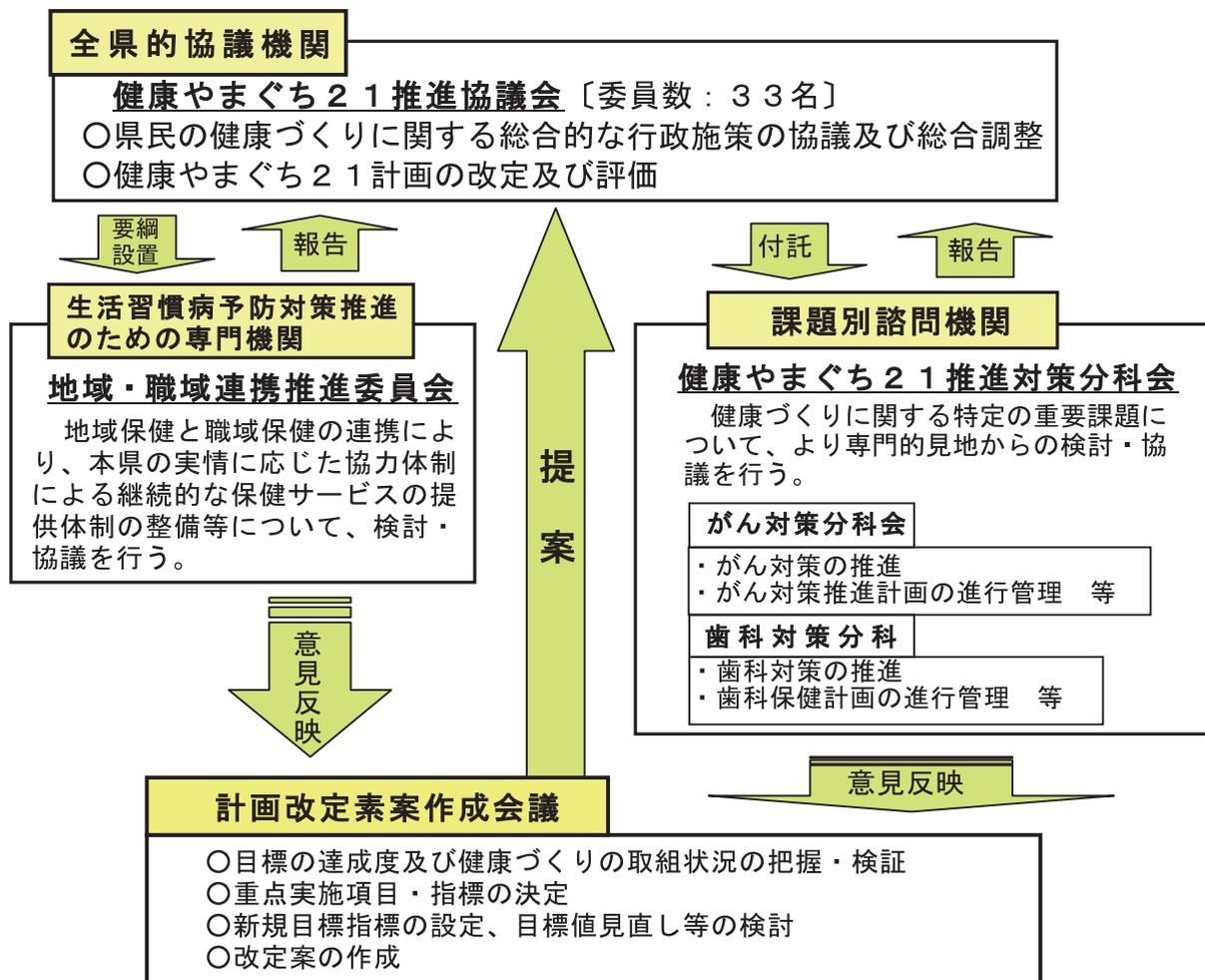
項 目	現 状	目 標	出 典
40歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	35.4% (平成 22 年)	25% (平成 34 年度)	県民歯科疾患実態調査
60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	42.0% (平成 22 年)	35% (平成 34 年度)	県民歯科疾患実態調査
40 歳(35～44 歳)で喪失歯のない人の割合の増加	70.7% (平成 22 年)	75% (平成 34 年度)	県民歯科疾患実態調査
60 歳(55～64 歳)で 24 本以上の自分の歯を有する人の割合の増加	69.6% (平成 22 年)	75% (平成 34 年度)	県民歯科疾患実態調査
80 歳(75～84 歳)で 20 本以上の自分の歯を有する人の割合の増加	28.9% (平成 22 年)	50% (平成 34 年度)	県民歯科疾患実態調査
60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	52.0% (平成 22 年)	80% (平成 34 年度)	県民歯科疾患実態調査
過去 1 年間に歯科検診を受診した人の割合の増加(20 歳以上)	27.7% (平成 22 年)	65% (平成 34 年度)	県民歯科疾患実態調査

健康を支え、守るための社会環境の整備

項 目	現 状	目 標	出 典
地域のつながりの強化(居住地域でお互いに助け合っていると思う県民の割合の増加)	11.2% (平成 24 年度)	増加させる (平成 34 年度)	健康づくりに関する意識調査
健康づくりに関するボランティア活動や各種の地域活動に参加する人の割合の増加	22.9% (平成 24 年度)	50% (平成 34 年度)	健康づくりに関する意識調査
県民の健康づくりの支援の行う企業等の登録数の増加	2,133 件 (平成 24 年度)	20%以上の増加 (平成 34 年度)	やまぐち健康応援団の登録数

2 計画策定の経緯

(1) 推進体制



(2) 協議等の経緯

①健康やまぐち21推進協議会

- 第1回（平成24年 8月30日）最終評価、計画の策定方針等について
- 第2回（平成24年11月15日）計画の素案について
- 第3回（平成25年 2月14日）計画の最終案について

②健康やまぐち21計画改定素案作成会議

- 第1回（平成24年 6月21日）最終評価の策定方針等について
- 第2回（平成24年 7月19日）最終評価（案）について
- 第3回（平成24年 8月16日）計画の策定方針等について
- 第4回（平成24年10月 1日）計画の目標指標・目標値について
- 第5回（平成24年10月31日）計画の素案について
- 第6回（平成25年 1月31日）計画の最終案について

③計画（素案）に対するパブリック・コメントの概要

◇募集期間

平成24年12月28日（金）から平成25年1月28日（月）まで

◇素案の公表方法等

県のホームページに掲載するとともに、県庁情報公開センター、各地方県民相談室及び山口県税事務所防府分室、県庁健康増進課、各健康福祉センターで、自由に閲覧できるようにしました。

◇募集方法

郵送、ファクシミリ、電子メールにより意見を募集しました。

◇提出のあった意見

294件の意見提出があり、その内容は次のとおりでした。

意見の概要	件数
全体について	
構成や文章、図に関するもの	8
個別項目について	
「がん」に関するもの	2
「糖尿病」に関するもの	2
「こころの健康」に関するもの	2
「高齢者の健康」に関するもの	2
「栄養・食生活」に関するもの	2
「休養」に関するもの	1
「飲酒」に関するもの	1
「喫煙」に関するもの	269
「歯・口腔の健康」に関するもの	1
「健康格差縮小の推進」に関するもの	3
「ライフステージに応じた健康づくりのポイント」に関するもの	1

(3) 健康やまぐち21推進協議会委員名簿

	団 体 名 等	役 職	氏 名	
学 識 経 験 者	山口大学教育学部(学校保健)	教 授	友 定 保 博	~H24.3.31 芳原達也 (公衆衛生学)
	山口大学教育学部(スポーツ健康科学)	教 授	丹 信 介	
	山口大学大学院医学系研究科(整形外科学)	教 授	田 口 敏 彦	
	山口大学大学院医学系研究科(衛生学)	教 授	原 田 規 章	
	山口大学大学院医学系研究科(神経精神医学)	教 授	渡 邊 義 文	
	山口県立大学(食物栄養学)	副 学 長	長 坂 祐 二	
	山口県立大学附属地域共生センター(児童福祉学)	所 長	加 登 田 恵 子	
	山口県立大学看護栄養学部(地域看護学)	教 授	藤 村 孝 枝	
関 係 団 体	社団法人 山口県病院協会	常任理事	三 好 正 規	~H24.3.31 小田悦郎
	社団法人 山口県医師会	副 会 長	濱 本 史 明	
	社団法人 山口県歯科医師会	専務理事	野 中 清 貴	
	社団法人 山口県薬剤師会	常務理事	天 艸 隆 之	
	公益社団法人 山口県看護協会	第二副会長	小野原 利 子	
	公益社団法人 山口県栄養士会	会 長	中 村 良 子	
	山口県連合婦人会	副 会 長	長 井 美 智 子	~H24.3.31 蔵成智津子
	山口県食生活改善推進協議会	会 長	家 根 内 清 美	
	社団法人 山口県快適環境づくり連合会	副会長兼専務理事	岡 本 正 巳	
	山口県国民健康保険団体連合会	常務理事	宮 崎 正 人	
	山口県母子保健推進協議会	会 長	梶 原 誠 子	
	山口県学校保健連合会	理事代理	今 鶴 勇 二	
	山口県老人クラブ連合会	会 長	藤 谷 芳 久	~H24.3.31 藤本憲司
	山口県PTA連合会	副 会 長	田 中 裕 志	
	公益財団法人 山口県体育協会	事務局長	岡 村 安 彦	
	山口県生活改善実行グループ連絡協議会	副 会 長	西 嶋 エ ミ コ	
	山口県商工会議所連合会	山口商工会議所専務理事	上 野 省 一	
	山口県商工会連合会	専務理事	西 村 克 己	
山口朝日放送株式会社	常務取締役兼報道政策局長	永 田 時 彦	~H24.3.31 長井太加志	
山口県市長会	下関市長	中 尾 友 昭		
山口県町村会	和木町長	古 木 哲 夫		
山口労働局	労働基準部長	巻 幡 由 里		
山口産業保健推進センター	所 長	赤 川 悦 夫		
全国健康保険協会山口支部	企画総務部長	田 中 健 治		
下関市立下関保健所	所 長	鈴 木 章 記	~H25.1.31 山本行政	

(4) 健康やまぐち21計画改定素案作成会議名簿

所属等		役職	氏名	備考
会長 山口大学大学院 理工学研究科		教授	奥田 昌之	学識経験者 循環器疾患、糖尿病ワーキング担当
副会長 山口大学教育学部		教授	丹 信介	学識経験者 食生活・栄養、身体活動・運動ワーキング担当
副会長 山口大学大学院 医学系研究科		教授	渡邊 義文	学識経験者 こころの健康、休養、飲酒ワーキング担当
県健康増進課		主 幹	高田 淳子	やまぐち歯・口腔の健康づくり推進計画担当 ～H24.7.31
"		主 幹	矢野 淳也	やまぐち歯・口腔の健康づくり推進計画担当 H24.8.1～
"		主 査	山本 浩幹	山口県自殺総合対策計画担当
"		主 査	日高 明彦	山口県がん対策推進計画担当
"		主 任	本田由起恵	地域・職域連携推進委員会担当
"		主任技師	岡田 佳恵	やまぐち食育推進計画担当
"		主任技師	苅田 美穂	健やか親子やまぐち21担当
県医務保険課		主 任	原田 英治	山口県医療費適正化計画担当
県地域医療推進室		主 査	嶋田英一郎	山口県保健医療計画担当
県長寿社会課		主 査	北山 博士	やまぐち高齢プラン担当
県子ども未来課		主 事	長村 絵理	やまぐち子どもきららプラン21担当
県学校安全・体育課		指導主事	藤井 邦夫	子ども元気創造担当（学校保健）
事務局	県健康増進課	調整監	西生 敏代	
	"	主 査	鬼村 敏彦	
	"	主 任	橋本 佳子	山口県たばこ対策ガイドライン担当
	"	主 任	山根 良樹	
	"	主 任	山岡 秀樹	

健康やまぐち21計画（第2次）

発行日 平成25年(2013年)3月
編集 山口県健康福祉部
健康増進課健康づくり班
〒753-8501 山口市滝町1-1
TEL(083)933-2943
印刷 (株)山口県農協印刷

2013
↓
2022